７．研究構想図

学校目標　自ら学び　つながり　たくましく生きる児童の育成

児童の実態

自分の思いをもって話すことができる児童が増えた。しかし，根拠をもって自分の考えを主体的に表現したり既習を活用したりすることは，まだ不十分である。

めざす児童像

・よく考える子
・思いやりのある子
・がんばりぬく子

研究主題　**対話を通して自ら考え，主体的に学ぶ子**

～　国語科・算数科を中心にして　～

（１）主体的・対話的で深い学びのある授業づくり

①対話的な学び（学びの指針　１・６）	②主体的な学び（学びの指針　２）
・単元を見通した適切な交流の場の設定 ・多様な考えを引き出したり，個々の考えを深めたりする教師の関わり	・単元を見通してつけたい力を明確にした，学習計画づくり・単元構想シートの活用 ・自己の成長を実感できるような，学びに対する「振り返り」

（２）対話力の向上　（学びの指針　４）	（３）「振り返り」の充実　（学びの指針　２）
①「聴く」６つのポイントの徹底 ②コミュニケーションの６つのポイントの提示 ③つなげて「話そう」つなげて「聞こう」の系統的な指導 ④表現活動の工夫	①ふり返りのポイント作り ②ふり返りのポイントの与え方 ③「振り返り」を活かす場の工夫 ④目標とめざすゴールの姿を意識した「振り返り」の活用

互いを認め合える学級づくり（生徒指導の３機能を意識して）